

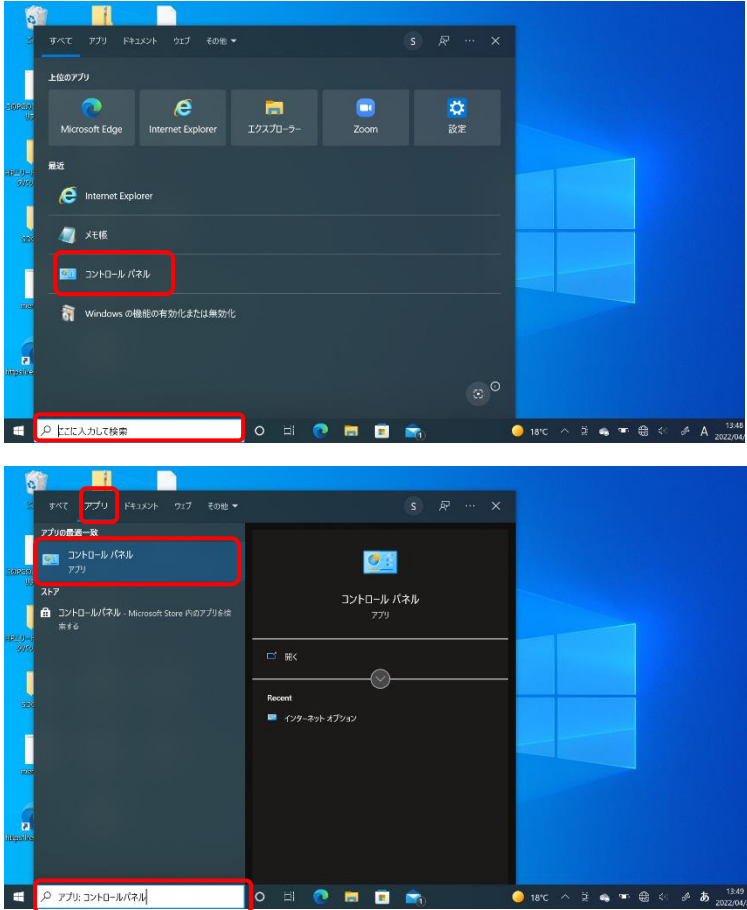

【Microsoft Edge（IEモード）における電子証明書の取得方法】

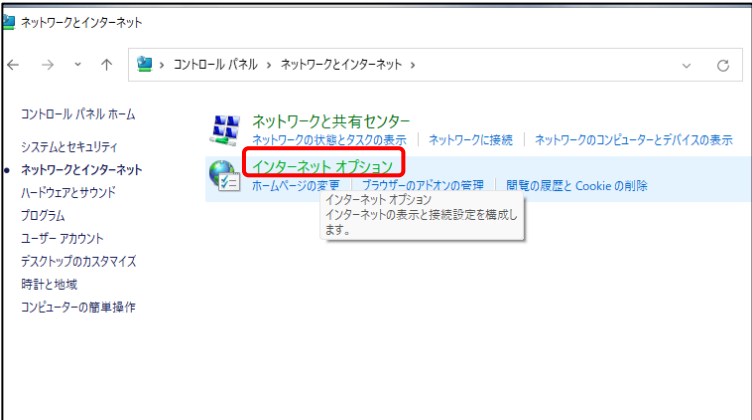
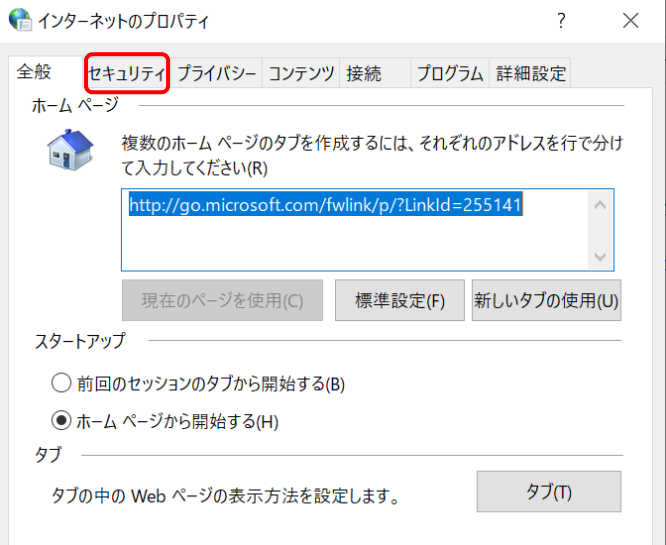
目次

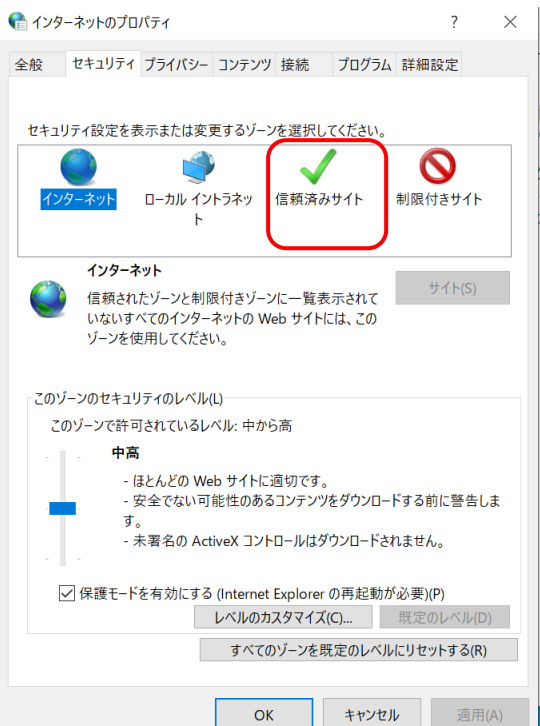
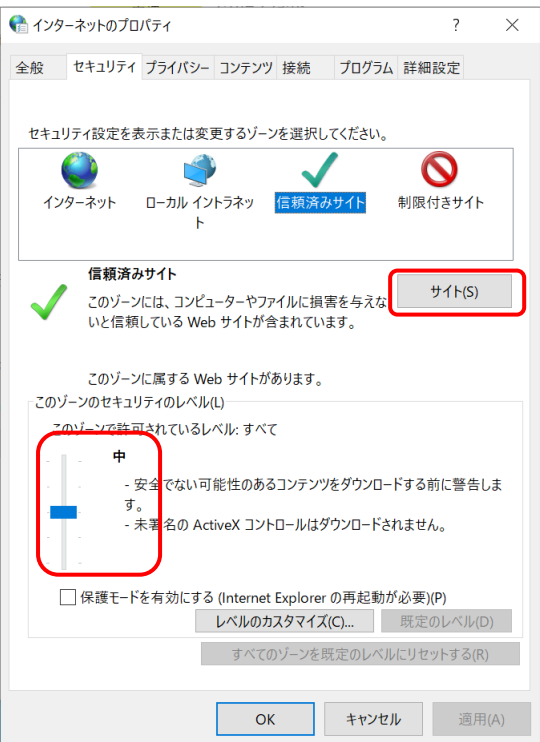
PCの事前設定事項	2-8
IEモード関連機能	9-12
電子証明書取得機能	13-14

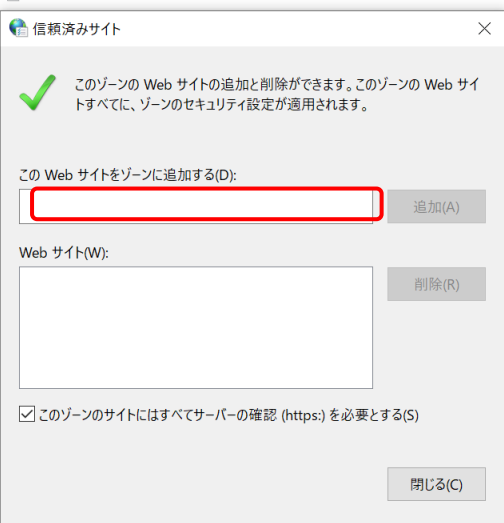
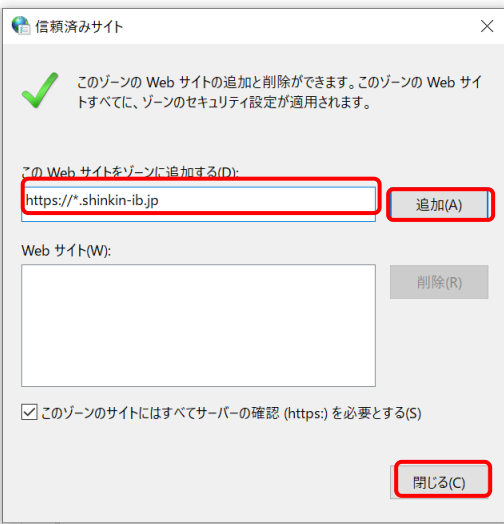
目次の手順を全て実施している必要があります。
手順の一部を実施済みのお客様は、未実施の手順をご参照ください。

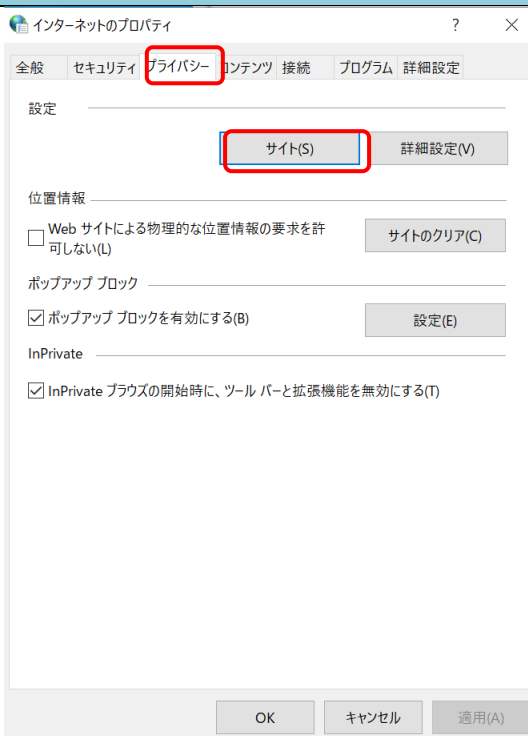
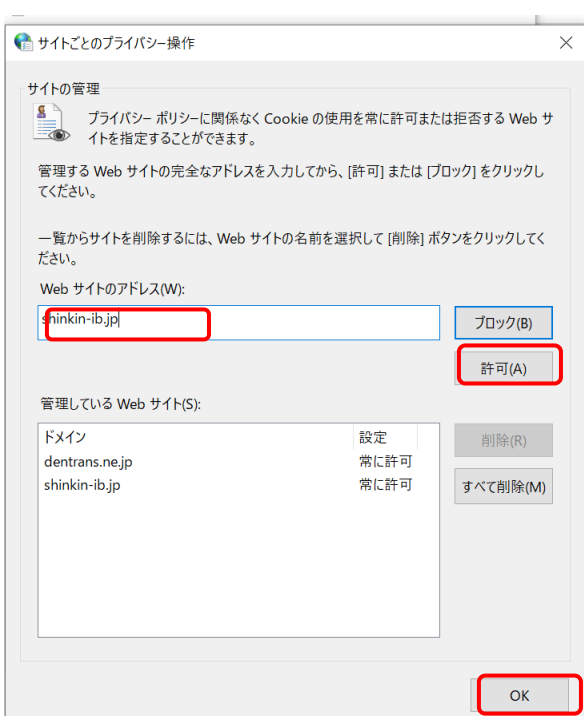
PCの事前設定事項

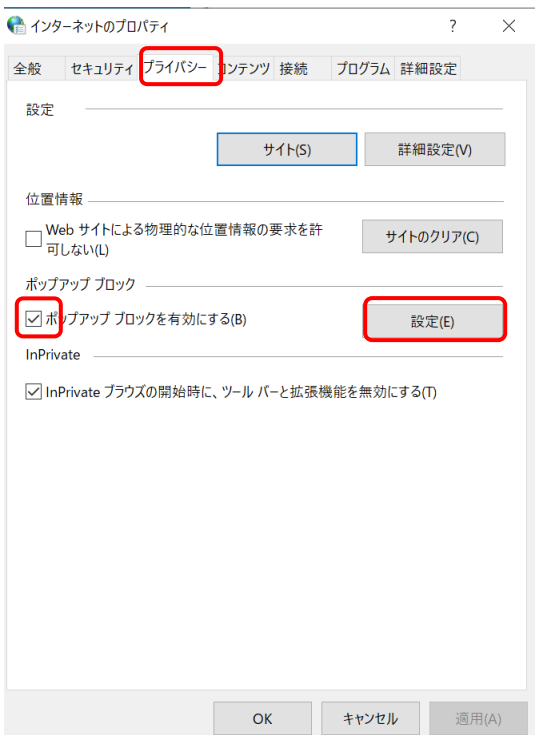
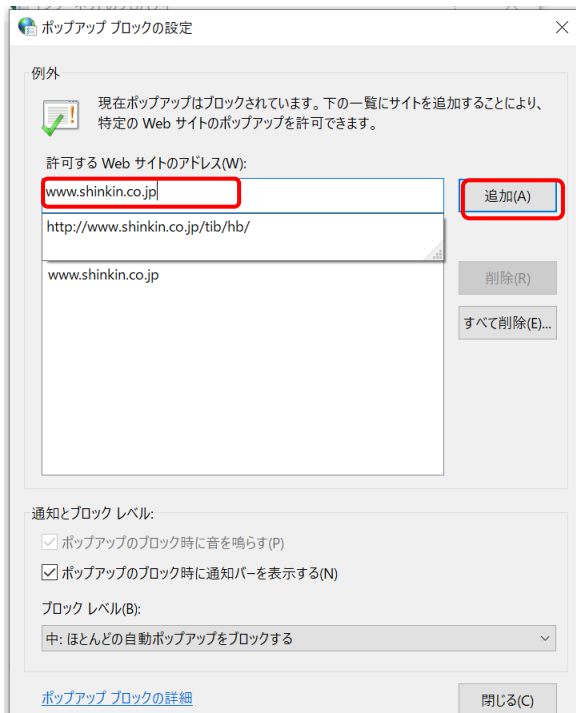
画面	操作
	<p>1. スタートボタン横にある検索ボックスを選び、「コントロールパネル」を開いてください。</p> <p>※表示されていない場合は、上部のメニュー欄から「アプリ」を選択し絞り込み検索をしてください。 検索キーワードにコントロールパネルと入力し、アプリの最適一致に表示されるコントロールパネル（アプリ）を選択してください。</p>
	<p>2. コントロールパネルの表示方法から「カテゴリ」を選択後、「ネットワークとインターネット」を選択してください。</p>

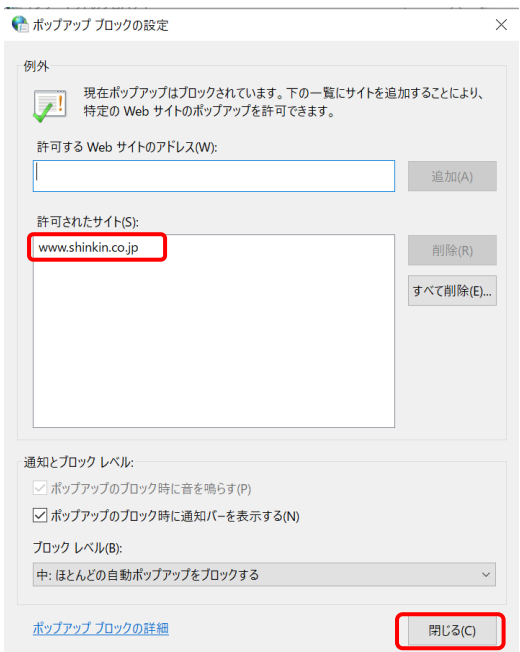
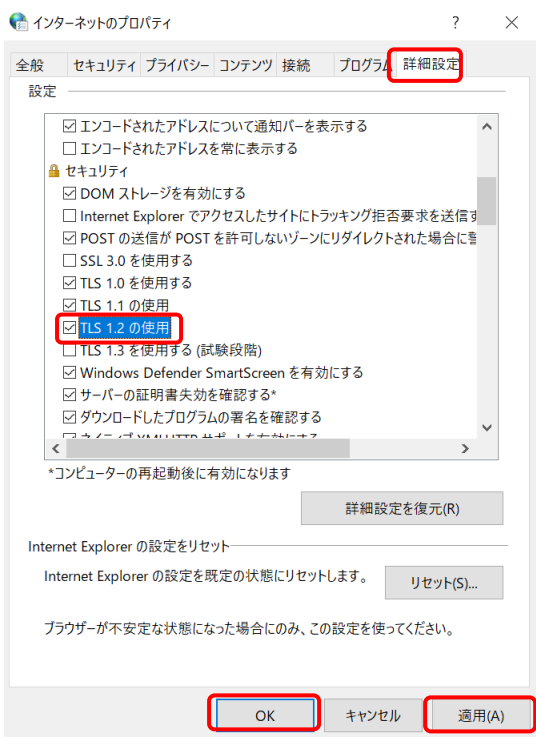
画面	操作
 <p>The screenshot shows the Windows Network and Sharing Center. The 'Internet Options' link is highlighted with a red box. A tooltip is visible over the link, indicating that clicking it will configure Internet Options and connection settings.</p>	<p>3. ネットワークとインターネットの「インターネットオプション」を選択してください。</p>
 <p>The screenshot shows the 'Internet Options' dialog box with the 'Security' tab selected. The 'Security' tab is highlighted with a red box. The 'Home page' section is visible, showing a text box with the URL 'http://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=255141' and buttons for 'Use current page (C)', 'Standard settings (F)', and 'Use new tab (U)'. The 'Start-up' section has radio buttons for 'Start from previous session (B)' and 'Start from home page (H)', with 'Start from home page (H)' selected.</p>	<p>4. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブを選択してください。</p>

画面	操作
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット 信頼済みサイト 制限付きサイト</p> <p>インターネット</p> <p>信頼されたゾーンと制限付きゾーンに一覧表示されていないすべてのインターネットの Web サイトには、このゾーンを使用してください。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L)</p> <p>このゾーンで許可されているレベル: 中から高</p> <p>中高</p> <ul style="list-style-type: none"> - ほとんどの Web サイトに適切です。 - 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。 - 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。 <p><input checked="" type="checkbox"/> 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)</p> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>5. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。</p> <p>インターネット ローカル イントラネット 信頼済みサイト 制限付きサイト</p> <p>信頼済みサイト</p> <p>このゾーンには、コンピューターやファイルに損害を与えないと信頼している Web サイトが含まれています。</p> <p>このゾーンに属する Web サイトがあります。</p> <p>このゾーンのセキュリティのレベル(L)</p> <p>このゾーンで許可されているレベル: すべて</p> <p>中</p> <ul style="list-style-type: none"> - 安全でない可能性のあるコンテンツをダウンロードする前に警告します。 - 未署名の ActiveX コントロールはダウンロードされません。 <p><input type="checkbox"/> 保護モードを有効にする (Internet Explorer の再起動が必要)(P)</p> <p>レベルのカスタマイズ(C)... 既定のレベル(D)</p> <p>すべてのゾーンを既定のレベルにリセットする(R)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>6. インターネットのプロパティの「セキュリティ」タブから「信頼済みサイト」を選択し、「このゾーンのセキュリティレベル」を「中」に設定後、「サイト」を選択してください。</p> <p>※セキュリティレベルが、「カスタム」となっている場合は、「レベルのカスタマイズ」を選択し、「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」画面を表示してください。</p> <p>「ActiveX コントロールとプラグイン」の「ActiveX コントロールとプラグインの実行」が「有効にする」になっていることを確認してください。</p>

画面	操作
	<p>7. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」に下記 URL を入力してください。</p> <p>「https://*.shinkin-ib.jp」</p>
	<p>8. 信頼済みサイトの「この Web サイトをゾーンに追加する」に URL を入力後、「追加」を選択し、「閉じる」を選択してください。</p>

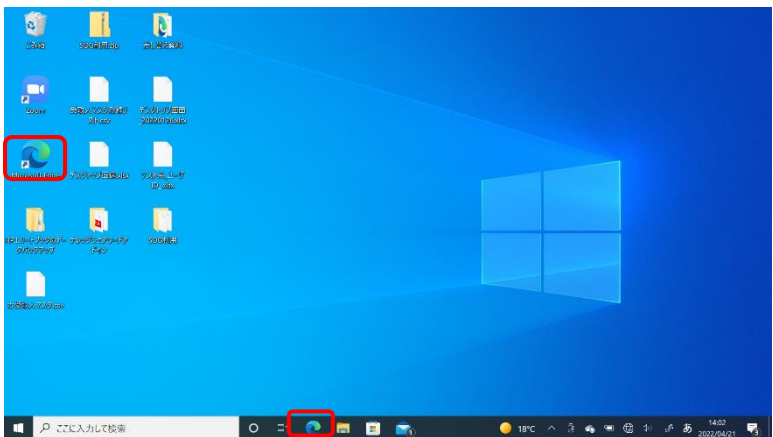

画面	操作
	<p>9. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「サイト」を選択してください。</p>
	<p>10. サイトごとのプライバシー操作の「Web サイトのアドレス」の入力欄に、下記 URL を入力します。（半角）</p> <p>法人インターネットバンキングサービスをご利用の場合 「shinkin-ib.jp」</p> <p>しんきん電子記録債権サービスをご利用の場合 「dentrans.ne.jp」</p> <p>「許可」を選択後、「OK」を選択してください。</p>

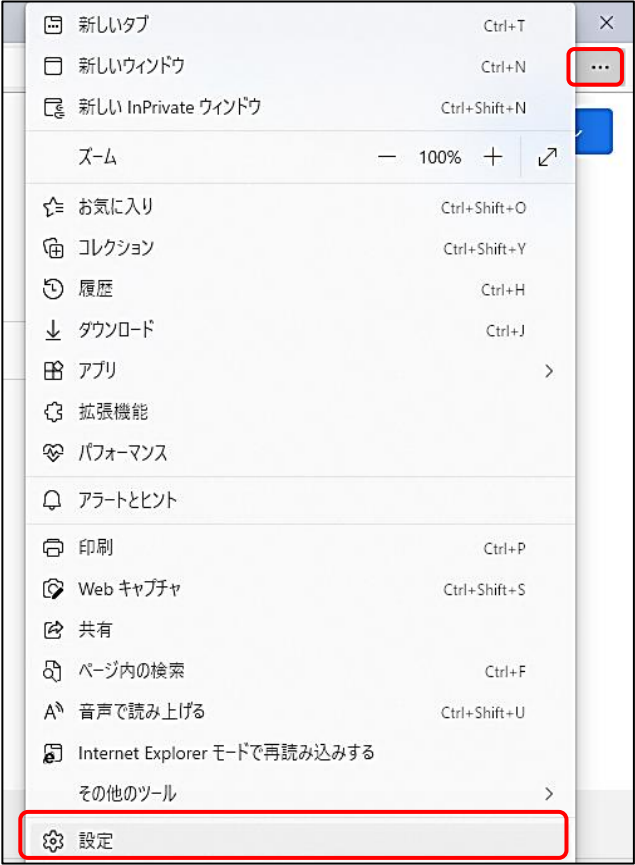

画面	操作
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>設定</p> <p>サイト(S) 詳細設定(V)</p> <p>位置情報</p> <p><input type="checkbox"/> Web サイトによる物理的な位置情報の要求を許可しない(L) サイトのクリア(C)</p> <p>ポップアップ ブロック</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップ ブロックを有効にする(B) 設定(E)</p> <p>InPrivate</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> InPrivate ブラウズの開始時に、ツール バーと拡張機能を無効にする(T)</p> <p>OK キャンセル 適用(A)</p>	<p>11. インターネットのプロパティの「プライバシー」タブの「ポップアップブロックを有効にする」が有効（チェックあり）であることを確認後、「設定」を選択してください。</p>
 <p>ポップアップ ブロックの設定</p> <p>例外</p> <p>現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定の Web サイトのポップアップを許可できます。</p> <p>許可する Web サイトのアドレス(W):</p> <p><input type="text" value="www.shinkin.co.jp"/> 追加(A)</p> <p>http://www.shinkin.co.jp/tib/hb/</p> <p>www.shinkin.co.jp</p> <p>削除(R)</p> <p>すべて削除(E)...</p> <p>通知とブロックレベル:</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)</p> <p>ブロック レベル(B):</p> <p>中: ほとんどの自動ポップアップをブロックする</p> <p>ポップアップ ブロックの詳細 閉じる(C)</p>	<p>12. ポップアップブロックの設定の「許可する Web サイトのアドレス」の入力欄に下記 URL を入力し、「追加」を選択してください。</p> <p>「www.shinkin.co.jp」</p>


画面	操作
 <p>ポップアップ ブロックの設定</p> <p>例外 現在ポップアップはブロックされています。下の一覧にサイトを追加することにより、特定の Web サイトのポップアップを許可できます。</p> <p>許可する Web サイトのアドレス(W): [] [追加(A)]</p> <p>許可されたサイト(S): www.shinkin.co.jp [削除(R)] [すべて削除(E)...]</p> <p>通知とブロック レベル: <input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に音を鳴らす(P) <input checked="" type="checkbox"/> ポップアップのブロック時に通知バーを表示する(N)</p> <p>ブロック レベル(B): 中: ほとんどの自動ポップアップをブロックする</p> <p>[ポップアップ ブロックの詳細] [閉じる(C)]</p>	<p>13. ポップアップブロックの設定の「許可されたサイト」に「www.shinkin.co.jp」が登録されたことを確認し、「閉じる」を選択してください。</p>
 <p>インターネットのプロパティ</p> <p>全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設定</p> <p>設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> エンコードされたアドレスについて通知バーを表示する <input type="checkbox"/> エンコードされたアドレスを常に表示する セキュリティ <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> DOM ストレージを有効にする <input type="checkbox"/> Internet Explorer でアクセスしたサイトにトラッキング拒否要求を送信する <input checked="" type="checkbox"/> POST の送信が POST を許可しないゾーンにリダイレクトされた場合に警告を表示する <input type="checkbox"/> SSL 3.0 を使用する <input checked="" type="checkbox"/> TLS 1.0 を使用する <input checked="" type="checkbox"/> TLS 1.1 の使用 <input checked="" type="checkbox"/> TLS 1.2 の使用 <input type="checkbox"/> TLS 1.3 を使用する (試験段階) <input checked="" type="checkbox"/> Windows Defender SmartScreen を有効にする <input checked="" type="checkbox"/> サーバーの証明書失効を確認する* <input checked="" type="checkbox"/> ダウンロードしたプログラムの署名を確認する <p>*コンピュータの再起動後に有効になります</p> <p>[詳細設定を復元(R)]</p> <p>Internet Explorer の設定をリセット Internet Explorer の設定を既定の状態にリセットします。 [リセット(S)...]</p> <p>ブラウザーが不安定な状態になった場合にのみ、この設定を使ってください。</p> <p>[OK] [キャンセル] [適用(A)]</p>	<p>14. インターネットのプロパティの「詳細設定」タブを選択してください。「TLS1.2 の使用」にチェックを入れます。「適用」を選択し、「OK」を選択してください。</p>

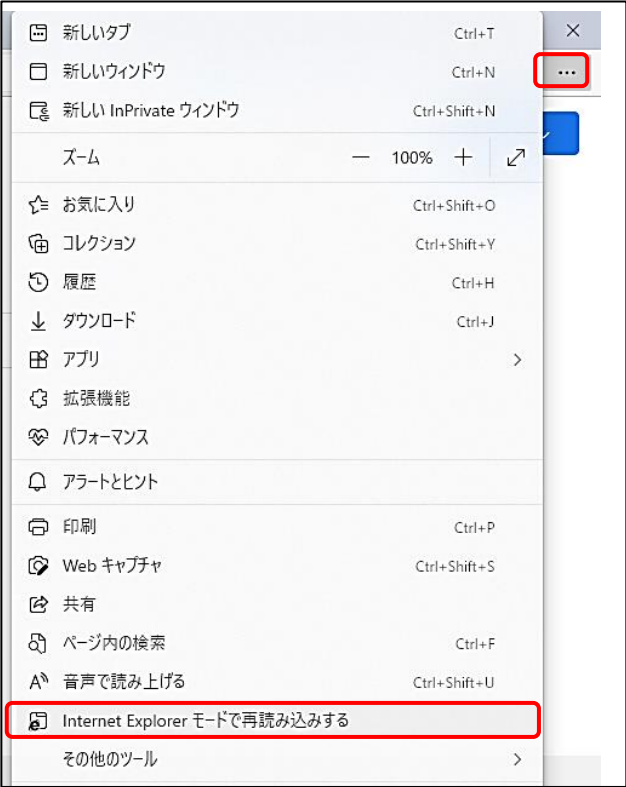

引き続き IE モード関連機能の手順を実施してください。

IE モード関連機能

画面	操作
	<p>1. ホームやアプリ一覧から、ブラウザ Microsoft Edge を起動してください。</p>
	<p>2. ブラウザー Microsoft Edge にて、ご利用の信用金庫の HP から、ログイン画面に遷移してください。</p>

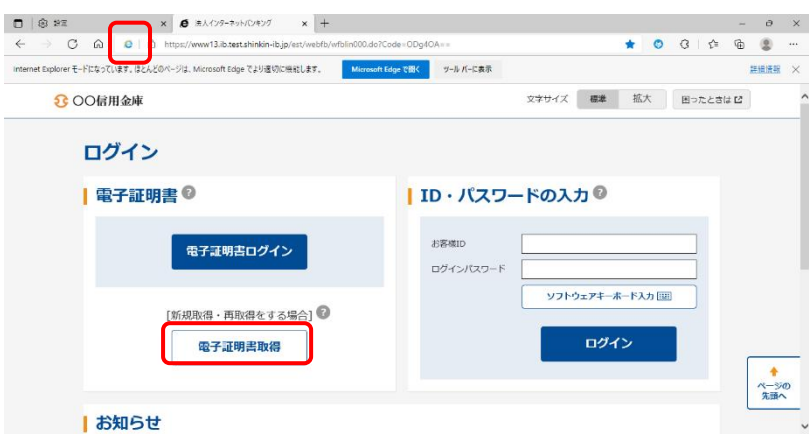



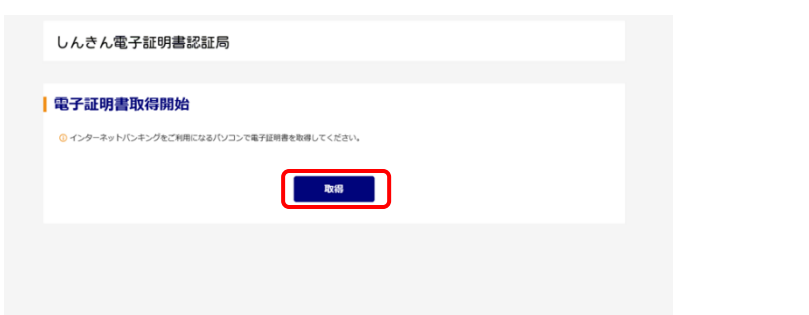
画面	操作
	<p>3. 右上の「…」を選択し、メニューから「設定」を選択してください。</p>
	<p>4. 「設定」のタブが新しく表示されます。「既定のブラウザー」を選択してください。</p>

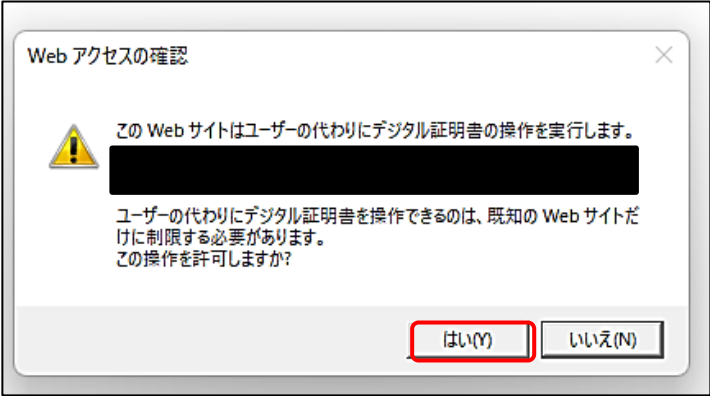
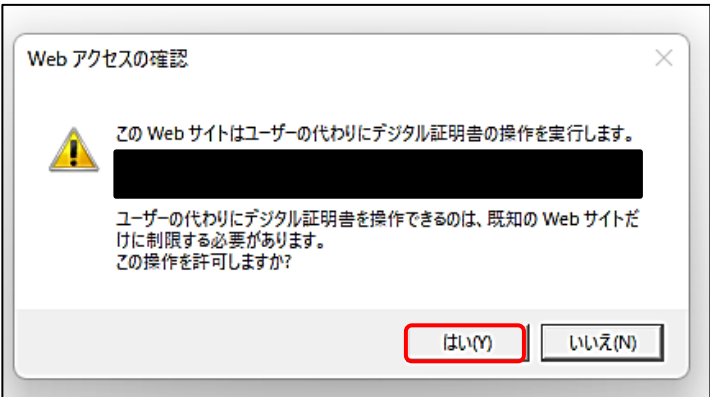
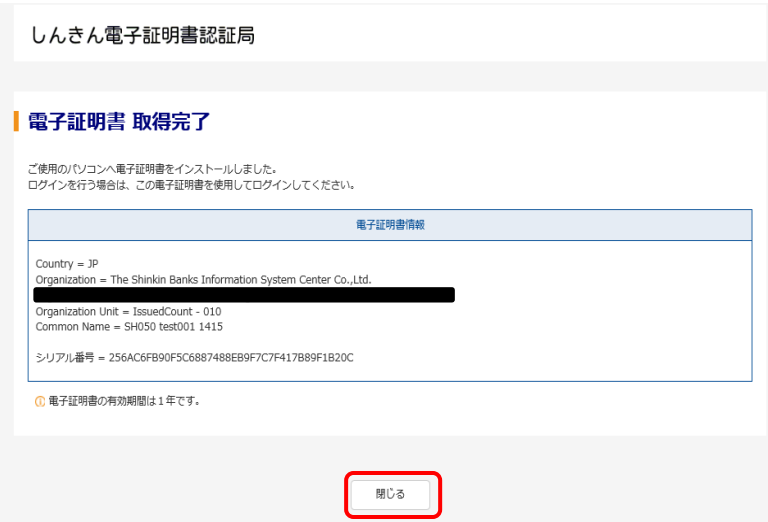
画面	操作
 <p>既定のブラウザー</p> <p>Microsoft Edge を既定のブラウザーにする 既定に設定する</p> <p>Internet Explorer の互換性</p> <p>Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる 互換性のないサイトのみ</p> <p>Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 既定</p> <p>Internet Explorer モード ページ 追加</p>	<p>5. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「許可」を選択してください。</p>
 <p>既定のブラウザー</p> <p>Microsoft Edge を既定のブラウザーにする 既定に設定する</p> <p>Internet Explorer の互換性</p> <p>Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる 互換性のないサイトのみ</p> <p>Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可 許可</p> <p>再起動</p> <p>Internet Explorer モード ページ 追加</p>	<p>6. Internet Explorer の互換性の「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」にて、「再起動」を選択し、ブラウザーを再起動してください。</p>
 <p>設定</p> <p>既定</p> <p>既定のブラウザー</p> <p>Internet Explorer の互換性</p>	<p>7. 「既定のブラウザー」が開かれている「設定」のタブを閉じてください。</p>

画面	操作
 <p>The screenshot shows the Microsoft Edge application menu. The 'Internet Explorer モードで再読み込みする' option is highlighted with a red box. Other options include '新しいタブ', '新しいウィンドウ', '新しい InPrivate ウィンドウ', 'ズーム', 'お気に入り', 'コレクション', '履歴', 'ダウンロード', 'アプリ', '拡張機能', 'パフォーマンス', 'アラートとヒント', '印刷', 'Web キャプチャ', '共有', 'ページ内の検索', '音声で読み上げる', and 'その他のツール'.</p>	<p>8. ご利用の信用金庫の HP 画面を表示してください。</p> <p>9. ブラウザー右上の「…」を選択し、メニュー内の「Internet Explorer モードで再読み込みする」を選択してください。</p>
 <p>The screenshot shows a notification dialog box titled 'このページは Internet Explorer モードで開かれています'. It contains the following text: 'Microsoft Edge では、ほとんどのページがより適切に動作します。セキュリティ上の理由により、このページの閲覧が完了したらずくにこのモードを終了することをお勧めします。詳細情報'. There are two toggle switches for '互換表示でこのページを開く' and '次回、このページを Internet Explorer モードで開く', both of which are turned off. A '完了' button is highlighted with a red box. At the bottom, there are three status indicators: '互換モード: IE11', '保護モード: 無効', and 'ゾーン: 信頼されています'.</p>	<p>10. ポップアップ画面にて、「このページは Internet Explorer モードで開かれています」が表示されたら、「完了」を選択してください。</p> <p>※「互換表示でこのページを開く」および「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」がオフの状態であることを確認してください。</p>

引き続き電子証明書取得機能の手順を実施してください。

電子証明書取得機能

画面	操作
	<p>11. ブラウザーが、Microsoft Edge (IE モード) になっていることを確認 (アドレスバーの左に Internet Explorer のアイコン「」が表示) してください。</p> <p>12. 「電子証明書取得」を選択してください。</p>
	<p>13. 「電子証明書取得」画面が、ブラウザ-Microsoft Edge (IE モード) にて表示されていることを確認 (アドレスバーの左に Internet Explorer のアイコン「」が表示) してください。</p> <p>14. お客様 ID / ログインパスワードを入力した上で「取得」を選択してください。</p>
	<p>15. 「電子証明書取得開始」画面にて、「取得」を選択してください。</p> <p>※「専用 USB に保存する」を選択した場合は、「パソコンに保存する」を選択した場合と同様の画面遷移となります。</p>

画面	操作
	<p>16. 「Web アクセスの確認」画面の「はい」を選択してください。</p>
	<p>17. 「Web アクセスの確認」画面の「はい」を選択してください。</p> <p>※「Web アクセスの確認」画面は 2 回表示されます。</p>
	<p>18. 左図のような画面が表示されれば、電子証明書取得が完了しました。「閉じる」を選択してください。</p> <p>※「専用 USB に保存する」を選択した場合は、「電子証明書 取得完了（専用 USB）」という画面が表示されます。（差分は表題のみです。）</p>